



フジタガンカニュース

Vol.161 2024.2.19



目が乾いたらドライアイなの？①

さて、一連の目と紫外線についての解説は前回号までで終了となりました。今後のご参考として頂ければ…という所です。そこで今回号からのフジタガンカニュースは、前回号の予告通りに「ドライアイ」についての解説を掲載したいと思えます。

ドライアイという言葉は現在広く一般に知られる言葉ですよね。簡単に説明すると「涙が少なくなるために目に不快な症状を生じる病態」です。しかし…とは言われても、ご自分の涙が少ないのかなんて判断出来ませんよね？眼科を受診するのであれば検査は可能ですけど、その検査にも色々な方法がありますので…パツと診察して簡単に診断できる訳でもないのかなあ？と個人的には思います。ただ、この「ドライアイの診断が容易かどうか？」という件には違う意見もあるかと思えます。端的に説明すると「診察室内のその瞬間に涙が少ないかどうか？」だったら比較的容易に診断がつかます。だから「眼科医だったらドライアイの有無の診断は容易」という言説はある意味正しい訳です。確かにそれはそうなんですけれど…涙の分泌量(もしくは貯留量)は体調や時間帯、疲労があるか？ストレスがあるかどうか？コンタクトレンズ(=以下 CL と省略)を使用しているかどうか？CLをしばらく装用していなかったか？診察寸前まで CL を装用していたか？花粉症で不調があるか無いか？パソコンやスマホを見る時間が長く長く目が疲れ切っている状況で涙っぽくなっていないか？等々。そもそも検査直前に悲しい事があって泣いていれば涙は多いし、検査直前に目にゴミが入ったらやはり涙が出ちゃいますよね？常識的にはそうした影響は患者さんから訴えてもらえるので、ちゃんと除外しながら涙の量を判定出来る訳ですが…患者さんの中には「眼医者は目の専門家なんだから、ちょっと見ればそういう事までお見通しでしょ」という考えの方もあってですね…特にそうした例外的な事を教えて頂けず診断を誤ったり…ドライアイかどうかの診断って意外に難しい場合も多いのです。

また、ご自分で「私はドライアイなので治してください」という訴えで受診される方の場合にも注意が必要です。そのドライアイ診断がご自分での判断の場合には眼科医としての確認作業が必要ですし、以前に他の眼科の先生からドライアイの診断を受けたという場合も、十分に他の疾患の除外が出来ていない場合もあります。例えば実はご本人の訴えの主たる原因がアレルギー性結膜炎だったり…老眼もしくは眼鏡度数の調整不良による眼精疲労だったり。場合によっては慢性の緑内障による視野欠損が隠れていて、実は目が見えにくい為に強く眼精疲労を生じてしまい、それがゴロゴロ感や乾燥感の原因となっている…なんていう患者さんにも出会う事もあります。つまりドライアイの診断と治療を扱うにあたってまず重要な事は「他の疾患を除外診断する」という事になります。例えば、「目が

ゴロゴロする、乾く、なんとなく見えにくい」といったドライアイを疑う症状がある場合に、年齢が 40 歳以上の方は 100%老眼を発症していますので注意する必要があります(フジタガンカニュース Vol.21 参照)。他にも、血液検査では花粉症やアレルギー反応を否定されている方の中で目に花粉症らしき症状(充血、痒み、ゴロゴロ感など)がある方の内、約 20%の方はアレルギー性結膜炎を発症しています(フジタガンカニュース Vol.45 参照)。つまりこれらの方々の場合には目の症状はドライアイっぽいんですが、治療としては老眼対策の眼鏡度数の調整だったり、ドライアイではなくてアレルギー性結膜炎の治療をやっつけていかないと治療効果が低い可能性が出てくる訳なんです。他にも 40 歳以上の日本人では緑内障を発症するリスクが高まると言われています。慢性の緑内障の初期では視力不良や視野欠損をご自分で自覚する事は少なく、ちょっとだけ見えにくい事(多くの場合、両眼同時に発症するという事はなくて…先に左右どちらかの眼に病気が出現します)が眼精疲労につながってしまい…いかにもドライアイを思わせるような症状を呈する事もあるので。つまり「ドライアイなんだからそこだけ治療すれば良いんでしょ？」という単純な話にはならないケースが凄く多くて…。実はこの事が私が当「フジタガンカニュース」においてドライアイの解説を避けて来た理由でもあるんですね。ドライアイの話をする前に他の疾患の事を理解してもらう必要がある…という訳なんです。今回のフジタガンカニュースのタイトル「目が乾いたらドライアイなの？」は…必ずそうとも限らないんですよ…という意味を含んだタイトルなんです…実は、珍しく前置きの話だけで紙面が一杯となってしまいました…次回はドライアイについての一般解説の引用から始めます！

今月のお知らせ

藤田眼科は医療機関の為、今後も院内ではマスクの着用をお願いする予定です、ご理解の程お願い致します。また**スギ花粉症の季節が到来**しています！ご希望の方は遠慮なくご相談頂きますようお願い致します
m()m



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC

藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

P-Vision

① **042**
(645)
0575
① **042**
(642)
2911